



たつみっこのための

すたなび

NO. 31

辰美小学校



一人の時間の過ごし方 ~ 自学・読書のススメ ~

冬のはじまり、冬の気配が現われてくる立冬が11月7日、12月21日は冬至。立冬から冬至までの間は、一年で最も夜の長さが長くなる頃です。日の暮れるのが早く、子どもたちが帰宅してから家で過ごす時間も長くなっていることでしょうか。一人きりの時間も大切に過ごしてほしいものです。

「一人の時間は、孤独で寂しい」と考えるより、「**自分自身と深く関わり合っているとても充実した時間**」と考えてみましょう。人間関係とは、対他人との関係である前に、**対自分**との関係です。自分に向き合えないひとは、他人にも向き合えません。自分に向き合うということは、自分自身を知り、いいところも悪いところもすべて受け入れるということです。子どもたちが、一人で過ごす時間も必要なのです。



PTA図書より

子どもをよい子に育てたい——。そう考えるあまり、声をかけ、世話をやきすぎて、依存心の強い、自立できない子どもが増えているといえます。しかし、子どもの将来を思うのなら、自分で考える力、周りの人とうまくやっていける本物の「生きる力」を身につけさせるのが親の務めです。

「親は子どもをサポートし、才能を花開かせるコーチ」、「子どもに教えたい、「愛すること」、「責任」、「人の役に立つ喜び」、「幸せ気分でするしつけ」、「あなたの『きき耳』チェック」など、親がコーチとしてのあり方を学び、親自身が成長することによって、子どもの「生きる力」も育まれていくのです。

引用：「子どもの心のコーチング」



《一人の時間 自主学習のススメ》

家庭学習とは、文字通り学校から帰宅して行う学習です。先生から課題を与えられる「宿題」以外に、自分で学習内容を選択し、時間を決め、書き方も工夫して取り組むのが「**自主学習**」です。

自主学習、こんなルールは、いかがでしょうか？

- ①毎日、続ける。
- ②学習時間：宿題以外に、**40分まででよい** から、がんばる。
- ③自分から学ぶ。
- ④先生に見せる。(コメントを書いてもらおう！)

好きなことを学びに…

一人の時間、お子さんはお家で何をして過ごしていますか？勉強もせず、外に出かけずには虫を捕まえたり、草花を採ってきて遊んでばかり…と頭を悩ませているご家庭も多いのではないのでしょうか。しかし、捕まえた虫を観察したり、名前を調べたり、飼育方を考えたりすることも立派な勉強です。子どもたちが、「もっと知りたい」、「調べてみたい」と思ったときに調べることのできる環境を整えておくことも大切です。学校の図書室にも、子どもたちの疑問を解決するのに役立つ本がたくさんあります。

虫が好きな人には…

なくむし

秋には、きれいな虫の鳴き声がたくさん聞こえてきます。さて、鳴き声の主はだれでしょう。この本を読めば、鳴き声だけで虫の種類が分かるようになるかもしれません。目指せ！昆虫博士！！

メスをよぶためになくんだよ

メスは交尾をするために、メスをよぶんだ。大きくて、強い声でなくオスには、メスが引き寄せられていくよ。



草や花に興味がある人には…

野の花えほん

私たちに四季の移り変わりを教えてくれる草花。少し辺りを歩いてみれば、たくさんの野の花が見つかるはず。この本には、野の花にまつわる豆知識もたくさんっていますよ。

ほかにも…



などいろいろあります。子どもたちがどんなことに興味を持っているのか、ぜひ聞いてみてください。そして、学びにつながる手助けをお願いします。